

POLAR VERITY SENSE

光学式 心拍センサー

スタートガイド



対応システム



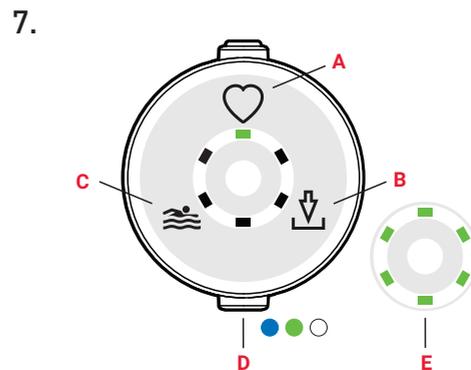
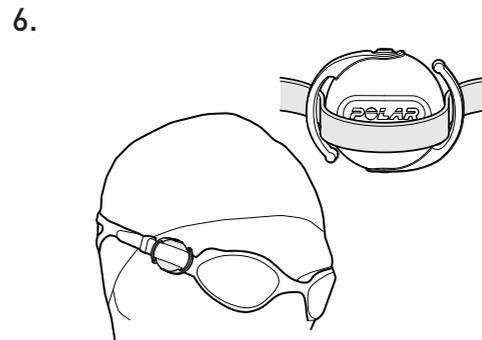
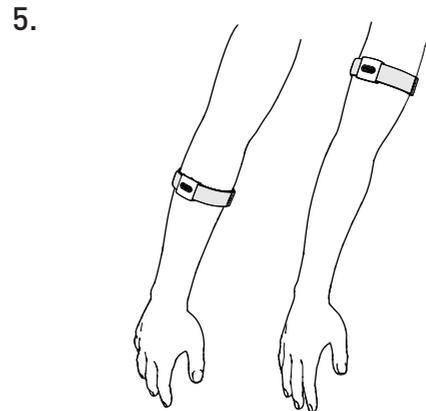
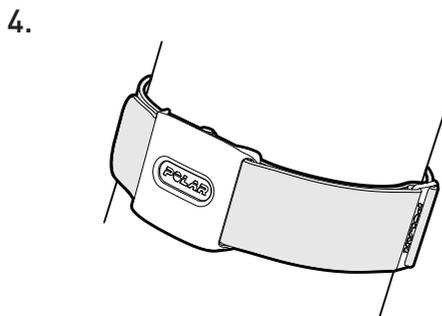
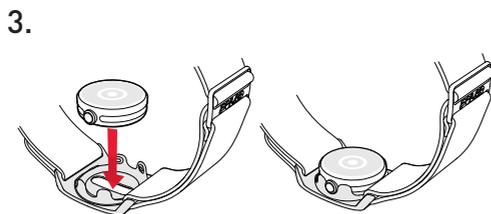
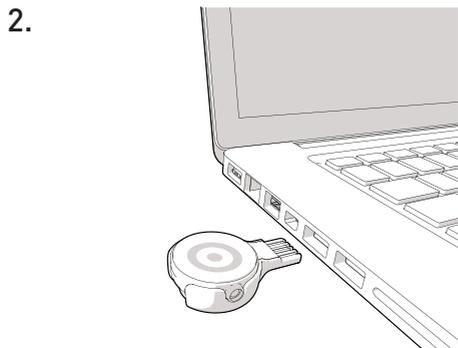
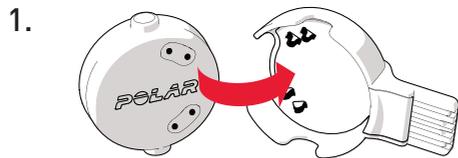
モデル: 4J

製造元

POLAR ELECTRO OY
PROFESSORINTIE 5
90440 KEMPELE
FINLAND
CUSTOMERCARE@POLAR.COM
www.polar.com

製品サポート窓口
support.polar.com/ja/verity-sense

JA 10/2020



日本語

Polar製品をお買い上げいただきありがとうございます。Polar Verity Senseの使用方法をご案内します。さらに詳しい情報は、こちらのサイトをご確認ください：support.polar.com/ja/verity-sense

充電方法

センサーのレンズ面を上向きにして、USBアダプターにしっかりとはまるようにセンサーを設置します（図1）。USBアダプターをコンピュータのUSBポートに接続するか（図2）、USB電源ソケットに差し込みます。接続部分が濡れている場合は、充電しないでください。

設定方法

お使いのスマートフォンに、Polar Flowアプリをダウンロードします。ボタンを押して、電源をオンにします。Flowアプリが自動的にセンサーを検出するので、あとはガイドランスにしたがって設定を行います。コンピュータで設定を行う場合は、flow.polar.com/startからPolar FlowSyncをインストールし、センサーをUSBポートに接続します。あとはガイドランスに従って設定を行います。

BluetoothやANT+対応のトレーニングデバイスなどと組み合わせてご利用頂けます。またPolarアプリ以外にも、様々なフィットネスアプリとの接続が可能です。ペアリングの方法は、お使いのアプリまたはトレーニングデバイスの取り扱い説明書をご確認ください。

装着方法

腕に装着する: レンズを上に向けた状態で、センサーをアームバンドホルダーに設置します（図3）。センサーがアームバンドの内側(肌に触れる状態)になるよう装着してください（図4）。前腕または上腕にアームバンドをぴったりと装着します（図5）。

スイミングゴーグルに装着する: センサーをスイミングゴーグル専用のストラップクリップに取り付け、クリップ部分をスイミングゴーグルに付けます。センサーが右側のこめかみの上に来るように装着し、センサーのボタンが上向きの状態であることを確認します（図6）。レンズ面がこめかみ周りの皮膚に直接触れるようにします。

トレーニングを開始

ボタンを押して、電源をオンにします。ボタンを押して、希望のモードを選択します。（図7）。対応デバイス又はアプリでセンサーを使う時は(A)心拍数モードを、センサー単体でトレーニングセッションを記録する時は(B)記録モード*を、プールでのスイミングセッションを記録する時は(C)スイミングモード*を選択します。サイドに点滅するLEDライトのカラー (D) は、心拍数モードの時はブルー、記録モードの時はグリーン、スイミングモードの時はホワイトです。モードを選択したら、6つのLEDライトが同時に点灯したのを確認し (E)、トレーニングセッションを開始しましょう。注：この時点で、モードはロックされています。モードを変更する場合は電源を一度オフにし、再度オンにする必要があります。トレーニングが終わったら、ライトが消えるまでボタンを長押ししてください。

* 記録モード、スイミングモードでセンサーを使用する際は、予めPolar Flow アカウントをリンクさせておいてください。設定プロセスで、実行できます。

i センサーは、BluetoothとANT+を介して心拍シグナルを送信します。Polar Flowアプリの設定画面からANT+心拍シグナルの送信を無効にできます。

お手入れ方法

洗浄に関する指示については、アームバンドのケアラベルをご確認ください。センサーの取り扱いには十分お気を付けてください。

使用素材と技術仕様に関する情報はsupport.polar.com/ja/verity-senseの「ユーザー マニュアル」をご参照ください。



この製品は玩具ではありません。お子様、またペットの手のふれない所に常に保管してください。この製品には、窒息の原因となる小さな部品が使われています。

無線機能は2.402~2.480 GHz ISM周波数帯で5.0mWの最大出力で動作。